

2007年10月15日

各 位

株式会社モレキュエンス
株式会社プロトセラ

**モレキュエンスとプロトセラ、日本人に多発する重篤な疾患の個別化医療に
関連するバイオマーカーの共同探索で合意**

株式会社モレキュエンス（本社：神奈川県横浜市、社長：加賀邦明）と株式会社プロトセラ（本社：東京都中央区、社長：田中憲次）は、プロトセラが開発したブロットチップ[®]解析技術を用いて、疾患の発症、進行や治療薬の効力もしくは安全性に関わるバイオマーカーを共同で探索することに合意しました。

株式会社モレキュエンスは、個別化医療を目指す三菱ケミカルホールディングスグループのバイオマーカー研究開発会社で、脳梗塞をはじめとする日本人に多い重篤な疾患の発症、進行や薬剤応答性に関わるバイオマーカーの探索を行っています。

株式会社プロトセラは、これまで独自に開発したペプチドバイオマーカー*探索技術であるブロットチップ[®]解析技術**を用いて、既に46種類の疾患から2000種類に及ぶバイオマーカーを発見、その一部は特許申請を終了し、早期事業化が有望なバイオマーカー候補については逐次製薬・診断企業にライセンスし、新規分子診断法の共同開発を実施しています。

両社は今回の共同研究で有望なバイオマーカー候補が確認できれば、来年以降さらに大規模な評価試験を実施し、早期事業化に向けての実用化を推進する予定です。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社モレキュエンス 業務管理 高嶋秀昭：045-963-4510
株式会社プロトセラ 田中憲次：03-5201-7733

<ご参考>

1. 会社概要

○株式会社モレキュエンス

設 立 : 2007年4月1日
本 社 : 神奈川県横浜市鴨志田町1000番地
資本金および準備金 : 2億5千万円
株主構成 : 三菱化学株式会社100%
事業内容 : ①バイオマーカーの探索 ②バイオマーカー関連技術の開発 ③インフォマティクスの技術開発

○株式会社プロトセラ

設 立 : 2004年4月1日
本 社 : 東京都中央区八重洲二丁目11番6号 八重洲KNビル8F
資 本 金 : 2億5千万円
事業内容 : ①受託解析事業（・広範囲な領域でのバイオマーカーの探索と同定、・リガンド&受容体機能解析と同定）、②共同開発事業（・分子診断法の開発支援、・個別化医薬品開発支援、・新規ペプチド医薬、抗体医薬、受容体医薬の探索&開発、③ライセンス販売事業（大学との共同開発事業成果のライセンス販売;新規分子診断薬(法)&創薬シーズ)

2. 用語解説

*ペプチドバイオマーカー：

プロトセラのこれまでの46疾患の解析から、血液中にはタンパク質の分解産物（ペプチド）が無数に存在することがわかりました。この分解産物は、健康な人と患者さん、疾患の種類、さらに疾患の進行によってもその種類と量に大きな差があることもわかりました。このようなペプチドバイオマーカー（プロテインディグラドームと呼びます）とその有用性の発見は、癌を含めた多くの病気では、元のタンパク質よりも分解産物の測定と評価の方が、刻一刻と変化する病気の進行と治療の効果を鋭敏に反映できることを示唆し、これまでの臨床検査医学にパラダイムシフトを強いるもので、その生理的・病理的意義の早期解明と臨床への実用化が求められています。

**プロットチップ*解析技術：

大量の試料を高速に解析できる技術として開発されました。従来技術では、プロテオーム解析を妨害する「運び屋タンパク質」を血液から除く際に一緒に多くの重要なバイオマーカーを失いましたが、本技術によって、「運び屋タンパク質」に吸着したバイオマーカーも大量に発見することが可能になりました。こうして得られたバイオマーカーを用いて、病気の早期発見や治療効果と安全性の判断に役立つ画期的な分子診断技術の確立に大きな期待がかかります。